

東京学芸大学 ヒューマンライブラリー

2025



東京学芸大学 explayground ラボ

ヒューマンライブラリーは、在日外国人、障がい者、セクシュアルマイノリティなど、生きている「本」と「読者」
との対話を通して、多様な生き方を認め合う、多様性に開かれた社会の実現を目指すイベントです。生きた
「本」のタイトル、あらすじは、本らし 2, 3 ページにあります。5 冊まで本を借りられ、30 分ずつお話しでき
ます。下記予約フォームで希望する「本」を予約してください。

日時：12月7日（日）12:30～17:30

場所：東京学芸大学 N 棟（中央 4 号館）3 階教室

主催：東京学芸大学ヒューマンライブラリー2025 実行委員会（代表：岡 智之）

後援：小金井市教育委員会、立川市社会福祉協議会、東京ヒューマンライブラリー協会

協賛：東京学芸大学教職員組合

問合せ先：東京学芸大学国際交流／留学生センター 岡 智之

okatom@u-gakugei.ac.jp

予約フォーム：[東京学芸大学ヒューマンライブラリー2025 申し込みフォーム](#) -

[フォームに記入する](#) 申し込み締切：定員が埋まり次第締め切ります。先着順で
一回のセッションの「本」一冊につき、5 人まで一緒に参加できます。

東京学芸大学ヒューマンライブラリー2025「本」のタイトル、あらすじ一覧

* 下記の「本」を 5 冊まで借りられ、30 分ずつ対話できます。

作者名	カテゴリー	タイトル	あらすじ
中嶋秀昭 <オンライン>	難民支援	困難が増す難民 (支援) の現状	世界中で故郷を追われた難民・避難民・庇護希望者などは日本の人口に匹敵する 1 億 2,320 万人で、世界で 67 人に 1 人を数えます。これは過去最大の人数です。しかし、米国を中心とした援助資金削減や排外主義の高まりにより、こうした人々の生存や保護はさらに厳しくなっています。現状と課題について、私が支援に取り組んでいるバングラデシュのロヒンギヤ難民に焦点を当ててお伝えします。
長江春子	中国残留日本人孤児 2 世	戦争の疼きを引き継ぐ	日中戦争が終わって 80 年、もう忘れられようとしているが、その疼きを引き継いだ人たちのことを知っていますか。戦後世代語り部が語り継ぐのは中国残留婦人や孤児が置き去りにされた経緯や帰国までの苦難であることが多いが、帰国後に彼らを待っていたのは何か、その二世がどのような山や谷を辿るのかも知っていただきたい。コロナ禍をきっかけに自伝『小春のあしあと』(Amazon) に綴り、自らを語ることにした私が願うのは、NO MORE WAR!
宮田士暖 <NEW>	アイヌ・戦争	戦没者の遺骨収集・返還活動の中で、アイヌと戦争に向き合う	アイヌと和人にルーツを持つ私が、沖縄戦で亡くなった方の遺骨・遺留品を収集・返還する活動に携わる思いをお話しします。今年 8 月には、「日本兵」として戦わされたアイヌの遺族を探すため、北海道を訪れました。これまで家庭でも聞きづらかった、戦争とアイヌのことに、向き合い始めています。
小室敬子	外国ルーツの子供の日本語教育	クルド人の子供はどのように日本語を学ぶのか。	私はクルド人のために地域の日本語教室を 8 年間運営している。それは、全てボランティアで行っている。親の都合で日本に連れて来られた子供たちは、日本の学校に通っているが、親のサポートがない外国人の子供は日本語の習得に苦しんでいる。中学生は高校に進学する学力が身につかない生徒もいる。私が日本で感じた外国人の悲しみや苦勞をみなさんに聞いて欲しい。
そのへんのひと <NEW>	多文化共生	外国ルーツの子ども学習支援ボランティア活動を通じて考えること	小金井市在住の外国ルーツの子どもの日本語・学習支援をするボランティア団体の代表です。活動の様子をご紹介しながら、ボランティア団体としてできること、できないこと、メンバーのボランティア志望の背景などについてお話し、今後も増えていくことが予想される外国ルーツの子どもたちに対し、地域のボランティア団体としてどのような存在になるのが望ましいと考えているかをお話ししたいと考えています。
榎本春音 <NEW>	LGBTQ、アイヌ語学習者	トランスジェンダー男性で和民族の私にとって、教育とは	トランスジェンダー・和民族とラベルを使ってみました。まずひとりの人間としてお話ししたいと思います。私は今、東京大学で教育社会学を学んでいます。私は高校生のとき、教育学部になんて絶対行きたくないと思っていました。そんな私が今教育について考え続けたいと思うのは、トランスジェンダーとして経験した様々なこと、自分について学べないしんどさ、そしてアイヌ語との出会いがあったからです。
佐藤悠祐 <NEW>	LGBTQ	ありのままでは生きづらい社会の中で。	幼少期に自身の性別に対する認識が人と違うと分かってから、自分らしさというものをひた隠しにし、年齢を重ね、友人や関わるネットワークが広がってもなお自分の本音を偽ったまま生きていました。戸籍の性別を変更し、周囲にカミングアウトをしながら介護という仕事をしていますが“ありのまま

			生きる”ことの難しさを痛感しています。それでも。この社会の中で生きていくためのお話です。
ひらり	LGBTQ	トランスジェンダー女性 レズビアン（「T」且つ「L」）の苦悩	「体の性が男性で恋愛対象が女性」という、傍目からはごく普通の男性にしか見えない、結婚も子作りも可能な私。しかし、トランスジェンダー女性「T」且つレズビアン「L」といった複数のマイノリティ性をあわせ持つダブルマイノリティの存在やニーズが世間ではあまりよく知られていないために、その稀有な生きづらさを気軽に相談できる相手がほとんどおらず、生活場面では一人で思い悩むことも多々あります。
Yummy <NEW>	発達障がい	発達障がいと付き合う人生と今後やりたいこと	発達障がいと付き合う人生というのは、本当に山あり、谷あり、そして谷あり。たぶん人生ほとんど谷ばかり。いずれ下るとわかっていても私は山を登らないといけなのです。だって生きているから。でこぼこ道を歩く私のこれまでの人生のお話と、今後やりたいと考えて取り組んでいることについてお話しします。もしあなたの心に残る話が1分でもあったら光栄です。
ナカヤマ アキト <NEW>	聴覚障がい	手話とは何か？ ろう者としての 言語と歴史	手話はしっかりとした言語であり、ジェスチャーとの違いを明らかに分かる仕組みを体験してみませんか？手話話者も色々なタイプがあって育ちや環境によって表現も異なります。耳が不自由であっても聴者と同様に日常生活を送ることができます。そういった世界を少しでも知ることによって視野が広がるかもしれません。
大谷重司 (おおたに じゅうじ)	視覚障がい	ベンチプレス世界チャンピオンの実態	1.現役の健常者チャンピオンは眼が見えない67歳の男です。 一昨年の3月の全国大会でも健常者の試合で優勝。 2. いろんな場面で視覚障害者は世間から分離されています。図書館でも点字図書。スポーツをするにも障害者専用のスポーツセンターがあります。その実態に疑問を持ち続けていました。 3. 町内でのスポーツジムへの参加。これだけで喜びは完結していました。 4. 可能性を見つけられたこと。限界を捨てることの意識の変化。
小山祐介 (コヤ)	うつ病当事者	憤りの先に見えたもの～自分の命には価値があると思いたい～	システムエンジニアとして勤めていた24歳のとき、残業100時間以上の超過労働、常駐先のパワハラが引き金となって鬱を発症しました。10回近く転職、たくさんの人に手を差し伸べてもらってアートやエンタメの活動をしていた結果、実体験を活かした起業の機会をいただくも、挫折。コロナ禍から一人暮らしを始め、ここ数年で11kg体重が落ちるなど体調不良を経て見えたものがあります。いま自分の中にある全てをお話します。
浜田有子	高次脳機能障害 失語症・同名半盲	隠れた障害、見えない障害。その心は？	オープンにするか、クローズにするか。その悩みを「分かりにくい障害」の方々と出会ってきました。私は過去、脳梗塞で長期入院し、リハビリを経て現在は失語症・同名半盲として働いています(意思疎通はしっかり話せるので安心して下さい)。日本の障害者法的雇用は2.5%になり良い事だけれど、アメリカ、スウェーデンなどでは割当て制度は採用していません。そもそも健常者って一体何なのだろう？リアルな現状をお話します。
トン <NEW>	73年間の人生	波乱万丈の人生	「おぎゃあ」と泣き声をあげることなく生まれてきた私の人生。小学生の頃から万引き、性被害、いじめにも遭い、結婚後は長女を難病で幼くして亡くし、続く長男も臓器移植をしなければならぬ病に。そして手術の朝に襲ってきた突発的な〇〇、はたして手術はできるのか？ そんな波乱万丈の人生をお聞きになりませんか。